

### Q3 「都」構想で大阪が発展する？



#### A カジノとムダな大型開発が「成長戦略」?!

橋下市長は『「都」構想で世界と勝負できる大阪になる』と言います。しかし、そんなことは「協定書」のどこにも書かれていません。それどころか、「勝負」の決め手は「カジノ（IR）」と言っています。そのために夢洲への鉄道などムダなインフラ整備まで計画しています。橋下市長は、「国際バクチ都市・大阪」にすることが「大阪都」の「試金石」だと言いますが、かつての失敗のくりかえし、破たんへの道です。

#### 大阪の成長の決め手は

大阪の経済のゆきづまりは、庶民の給料があがらないこと、中小企業の苦境が根本原因です。打開策は「しくみ」を壊すことではなく、ここにメスを入れ、打開する政治の中身の転換です。



大阪のええとこ  
天神橋筋商店街

日本一長い商店街。江戸時代に日本の物流で主要な役割を果たした「天満青物市場」を中心として発達した。天満宮への参詣や天満天神繁昌亭のお客で賑わう。

### Q4 住民サービスは良くなる？



#### A ぐらしをささえられない「特別区」

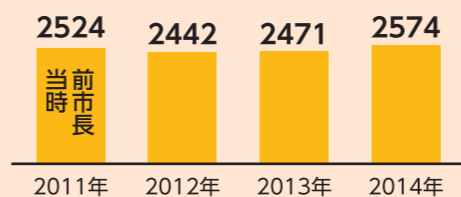
橋下市長は、「特別区」になれば「住民サービスはよくなる」といいますが、その保障はありません。第一、いまの大阪市にはいる税収が、「特別区」になれば4分の1になってしまい、あとは「大阪府」が「むしり取る」（橋下氏）のです。そのお金を「特別区民」のために使うかどうか、「協定書」にはどこにも明記されていません。

また、国民健康保険、介護保険、こみ、水道などは「特別区」では担えず、もう一つの役所（二部事務組合）をつくってすすめるといえます。そうなればこれまで大阪市が国保料の負担軽減のためにだしていた予算がなくなり、1人あたり国保料は2万円以上アップされる危険があります。財源も、権限も、「特別区」はまともな自治体とはいえません。

#### 若者泣かせの橋下市長

橋下市長は、「新婚世帯家賃補助廃止」「幼稚園保育料の大幅引き上げ」などを強行しています。しかも、子ども・教育予算は、ほとんど横ばい（下図）なのに「（前市長の）教育費の5倍、6倍にした」とウソの宣伝をしています。

子ども青少年費・教育費は横ばい(億円)



#### 大阪市を「壊す」のではなく、「改革」してこそ

地下鉄・市バスの「敬老パス」は大阪市という政令市がもつ大きな財源があつてのもの。「大阪市」を「壊す」のではなく、「住民福祉の増進」という法律どおりの仕事をする市政に「改革」してこそ、市民のための施策ができます。

#### 売り飛ばすと言っている地下鉄の黒字30億円を有効に使えば……

橋下市長が売り飛ばすと言っている地下鉄は年間300億円の黒字。改悪された敬老パスを元に戻すための必要額36億円の9倍、国保料1世帯1万円を値下げするための必要額73億円の4.6倍にもなります。